



# JCDA 20000 MEMBERS ANNIVERSARY

JCDA 会員2万人記念全国大会

プログラム

## 2万人が紡ぐ新しい物語

2021/10/16 ㊦ 9:00 ~ 17:10 オンライン (Zoom)

# JCDA 会員2万人記念全国大会にあたって

日本キャリア開発協会 (JCDA)  
理事長  
大原 良夫



会員の皆様、本年の JCDA 定期大会は「JCDA 2万人達成」の節目として 10月16日(土)に、オンラインにて開催いたします。今年のテーマは「2万人が紡(つむ)ぐ新しい物語」です。

まず、「2万人達成」に関して触れたいと思います。JCDA は、キャリア支援を志すメンバーの集まりとしては国内最大の会員数を有する組織となりました。2万人という数が、社会的インパクトを持つ組織であることを確認すると同時に、私は JCDA が NPO であることを強調したいと思います。つまり、NPO としての JCDA は、キャリアカウンセリングという専門性を通して、社会的貢献や公益的な活動を求められる存在でもあることを意味しているのだということです。我々は、「キャリアカウンセリングを社会のインフラ」にすべき土台をさらに強固にしたと言えます。

次に、大会のテーマである「2万人が紡(つむ)ぐ新しい物語」についてです。キャリアカウンセリング、キャリアコンサルティングという言葉がいろいろ使われ、その意味合いも多様の中、我々 JCDA 会員は何をもって会員の「誇り」とするのかを考えてみたいと思っています。それは、次のような理由からです。

JCDA の中長期的スローガンである「内から外へ」は、「会員の活動の場を拡大する」ことでもあります。新しい場で活動しようというとき、私は、会員である皆さん一人ひとりの「動機やありたい自分」を抜きにして、JCDA の活動に賛同を得ることは困難だと思っています。個々人の「キャリアカウンセリング」への想いや誇りは、皆さんの「動機やありたい自分」を現しています。それは、数や社会的責務などの外的要請を超える、力強い活動の推進力になることは間違いないと思います。

今回の大会は、物語のメタファーを使って、一人ひとりの思い(物語)を語り、それを我々(JCDA 会員全体)の物語へと紡ぐための場としたいと思います。どう紡がれていくのか、紡ぐのは参加される皆さんの手にあります。ぜひ、ご参加ください。

## 2万人大会に向けて

日本キャリア開発協会 (JCDA)  
会 長  
**立野 了嗣**



皆さん、こんにちは。  
JCDA の会長をしています立野了嗣です。  
いよいよ、「JCDA 会員 2 万人達成記念大会」の開催です。  
思えば、2000 年 10 月 26 日が JCDA 設立記念大会でした。そして約 20 年が経過し、本年、設立記念大会と同じ 10 月に「2 万人大会」を開催します。

まず、JCDA 会員の皆様方に御礼を申し上げたいと思います。  
この JCDA 会員の方々は、志を同じくする「仲間」だと思っています。  
設立記念大会のパンフレットに「キャリアカウンセリングが日本を変える」と記しました。そして「CDA が日本のキャリア形成を担う」と申しました。  
そして現在、キャリア形成を担う「仲間」が 2 万人を超えたわけです。万感胸に迫る思いがございます。

様々なことがありました。JCDA 発足から 4 年、2006 年にキャリアコンサルティング協議会が生まれ、私が初代会長に就任。  
2009 年に経験代謝を発表。  
2013 年から 2015 年にかけて 2 度目のキャリアコンサルティング協議会会長を務め、国家資格（キャリアコンサルタント）創設前後を経験しました。そして 2017 年 6 月、その年の JCDA 通常総会にて、私は理事長退任、会長に就任し、現在に至ります。

キャリアカウンセリングを通して、日本の社会の変遷を観てきたように思います。  
現在、コロナ禍も少し落ち着きを見せ始めています。コロナ禍は、まさに災い以外の何物でもありません。しかし、このショックにより生み出されたものもあるように思います。「働き方」や「働く意識」が大きく変化することが予想されています。  
一説には、「100 年に一度」の大変革とも言われています。  
我々は、今、働き方の変革が始まろうとする時期に立っているのかも知れません。  
この変革の時期をキャリアカウンセラーたる我々 CDA が、人々に寄り添い、リードしていかなければならないのではないかと思います。

本日の「2 万人大会」は、この変革の時代に向かっていくスタートの大会と位置付けたいと思います。



独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長

樋口 美雄

日本キャリア開発協会会員2万人の達成、誠に  
おめでとうございます。

JCDA が設立されましたのが2000年2月1日  
でありましたから、今日まで21年間の歳月を  
かけ、キャリアカウンセラーの輪が2万人に  
まで拡大したわけです。この間、立野会長を  
はじめ関係者の皆様のご苦労は大変なもの  
があったのではないかと思います。こうした  
皆様のご尽力に敬意を表するとともに、  
この会に参加しプロのキャリアカウンセラー  
として新たな知識と技術を身に付け、仕事  
の選択に迷っている人々の相談に親身にな  
って乗ろうとする皆様の心意気に感謝を  
申し上げたいと思います。

今、日本では科学技術の発展、人口構造の  
変化により、失われる職業がある一方で、  
新たな職業が創出されようとしています。  
個人と企業の関係にも変化が見られ、か  
つてのように一度会社に入ったら仕事は  
企業から与えられ、個人が仕事を選択す  
る余地がない時代ではなくなりつつあり  
ます。企業もどのような仕事が必要にな  
り、そのためにどのような能力を身につ  
けた人が必要であるかが見えている時代  
であれば、企業も責任を持って社員に  
仕事を与え、社員も生涯を全うするこ  
うことができましたが、もうそうした時  
代ではなくなりつつあります。

ところが、経済が発展し、技術革新が起  
こり産業構造、職業構造が変化するよう  
になりますと、先が見えなくなります。  
今般の新型コロナウイルスの蔓延は、こ  
うした産業構造、職業構造の変化を加速  
したとも言われます。人生が長くなるに  
したがって、企業は責任を持って、生涯  
にわたって人材の配置、能力開発、そし  
て活用をしていくことができなくなりま  
す。もちろん、企業よりも個人のほうが  
先見性を持っているわけではありません。  
しかし、企業がそれをできない以上、個  
人が責任を持ってやらざるを得ません。  
人々の適性や能力、希望、生活、その  
人の置かれた環境

は、個人によって異なっており、その違  
いを尊重しようとする限り、個人がど  
のような仕事を担うのか、個人の選択  
権を尊重していかなざるを得なくなり  
ます。それだけ今の日本でも、個人に  
よるキャリア形成の重要性が増すとい  
うこともできます。

キャリア形成には時間がかかります。一朝  
一夕でできるものなら、その都度、何  
度でも仕事を変えようとするればそれ  
ですみます。それができなければ、ど  
うしても将来を見据えて、職業の選  
択をしていかなければなりません。技  
能の形成には時間がかかります。多く  
の人々は何の知識も情報もなしに、自  
分の能力や適性も十分わからないまま  
、将来を見据えて、仕事の選択を行  
っていかなければなりません。その点  
、キャリアカウンセラーの皆様は専門  
的な知識を持っており、それに基づ  
き、迷っている人々の相談に乗って  
いくことができます。

先日、小中学生の間で、職業に関する  
一冊の本がよく売れているという話を  
聞きました。池上彰監修の『なぜ僕ら  
は働くのか』(学研プラス)がそれです。  
その本を手に取りのぞいてみますと、  
働くことの意味、生活にかかるお金、  
AI時代の働き方、勉強することの意  
味、やりたいことの見つけ方、後悔し  
ない生き方など、漫画を織り込んで説  
明してあります。そして私の関心を  
もっとも引いたのは、最初に書いてあ  
りました「一冊の本が人生を決める」  
という表現であり、この本がそうした  
本になることを望むと記されたところ  
です。

おそらくキャリアカウンセラーの皆様  
の助言は、相談者の人生を決めること  
になることが多いと思います。そう  
した覚悟と勇気を持ってキャリアカ  
ウンセラーの仕事にあたっていただく  
ことが大切かと思います。

JCDA の益々の発展と皆様  
の成功をお祈りしております。本日は  
、誠にありがとうございます。



厚生労働省  
職業安定局長  
田中 誠二

立野会長、そしてJCDA会員の皆様。

「JCDA 会員 2 万人達成記念全国大会」のご盛會を心よりお慶び申し上げます。

私は、厚生労働省職業安定局長の田中と申します。現在は、国の雇用政策の責任者として全国のハローワークを統括しており、公共職業紹介におけるキャリアコンサルティングを推進する立場にありますが、かつては、西暦 2000 年頃に遡りますが、担当課長補佐として、まさに黎明期のキャリアコンサルティングの仕組み作りに関わっていたところでした。当時開催された JCDA の設立大会にも、立野さんからお招きをいただいて出席し、ご挨拶を申し上げましたが、そのことは、今なお、大変印象深い記憶となっております。

その後、皆様のご助言も得ながら、厚生労働省にキャリア形成支援室を設置して本格的な制度整備に着手したのが 2002 年 4 月でした。その時から約 20 年の歳月が流れたということになります。

今回、そうしたご縁もあり、このメッセージをお届けする機会を賜りました。

まずは、そのことに厚く御礼申し上げるとともに、JCDA 会員の皆様が、長年の間、キャリア形成についての考察と実践を深め、我が国社会の様々な分野・領域でのキャリアコンサルタントの役割を拡大、発展させていただいていることに、改めて最大限の敬意を表したいと思います。

さて、世界は長期にわたるパンデミックのさなかにあり、我が国においても度重なる緊急事態宣言による人々の行動規制や事業活動の抑制、さらにはこれを契機とした社会構造の変化などにより、人々の職業生活も多大な影響を受けるに至っています。

厚生労働省においては、雇用調整助成金の迅速な支給をはじめ、雇用の確保のための施策を強力に進めてきておりますが、コロナ禍が全世界に拡がり、また長期にわたってきたことで、今後の労働需要は、国

内外を通じて大きく変化していくことが予想されます。そして、これまでの職業生活設計を見直し、新たなキャリアに向けての一步を踏み出す人々も増加していくと考えられます。

こうした時代において、円滑なキャリア形成が実現されるようにするためには、雇用機会の確保、雇用環境の整備といった雇用政策をさらに進めるとともに、多様なキャリア志向を有する人々への専門支援者として、キャリアコンサルタントの皆様がしっかりと彼ら／彼女らに寄り添い、伴走し、多くの人々に、主体的な職業生活設計と的確なキャリア選択の可能性を開いていくことが大変重要になるであろうと思います。

JCDA 会員の皆様は、既に、そうした時代の変化を鋭く感じ、社会における役割意識を一層高めながら、これからの活動の在り方についての思いを強くされているのではないかと拝察いたします。

私は、「キャリア」という言葉に、人がその一生をかけて社会という大地に描いてゆく轍（わだち）＝足跡（そくせき）というイメージを重ねています。もちろん、その大地には一人の足跡だけではなく、先人・先達や同じ時代を生きる人々の足跡が幾重にも重なり合い、複雑な模様が浮き上がってきます。キャリアコンサルタントは、その一つ一つに向き合って共感するとともに、多くのキャリアが合わさってできる人間社会全体の有りようにも目を凝らし、各人がそれぞれのキャリアを、より良く、かつ、伸び伸びと描いていけるように、ほどよい距離からのサポートを積み重ねていく必要があると思います。

JCDA 会員の皆様には、引き続き、キャリアコンサルティングのさらなる普及に向けて、ご尽力、ご協力を切にお願いいたします。

終わりに、JCDA のさらなるご発展と、皆様のご健勝を祈念して、私からのお祝いいたします。

## タイムスケジュール

9:00	オープニングセッション								
9:10 ┆ 9:20	<b>開会挨拶</b> 日本キャリア開発協会 理事長 大原 良夫								
9:20 ┆ 9:30	<b>来賓挨拶</b> 厚生労働省 人材開発統括官 若年者・キャリア形成支援担当参事官付 キャリア形成支援室長 國分 一行 様								
9:30 ┆ 10:10	<b>記念講演①</b> <b>「会員2万人達成を超えて、その先へ」</b> 日本キャリア開発協会 会長 立野 了嗣								
10:20 ┆ 11:10	<b>記念講演②</b> <b>「今、小さな物語から大きな物語へ」</b> 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 キャリア支援部門 副統括研究員 下村 英雄 様								
11:20 ┆ 12:00	<b>リレートーク</b> <b>～ CDA が語る私の物語～</b>								
12:00 ┆ 13:00	休憩 (60 分)								
13:00 ┆ 14:10	<b>分科会①</b> 発達障がい者の 自助会活動 研究会1 「いきいきムーン」	<b>分科会②</b> 高等学校での キャリア カウンセリング の必要性を問う 研究会2 「高等学校への キャリアカウンセリング 制度導入研究会」	<b>分科会③</b> 未成年者の これからの 紡ぐ支援とは 研究会3 「これからの 紡ぐ研究会」	<b>分科会④</b> がん治療と 仕事の両立支援 における CDA と がん患者の実態 りぼら&研究会4 「治療と仕事の 両立支援」	<b>分科会⑤</b> CDA がキャリア カウンセリング を受ける仕組み ～カレーを 食べたことがない カレー屋さんって いるの?～	<b>分科会⑥</b> 経験代謝の 未来を語る ～新プログラムの 構想発表～	<b>分科会⑦</b> キャリア自律を 促すための 新・キャリア発達 モデル～9つの テーゼ～ 日本マンパワー キャリアの これから研究所	P.7参照	
14:40 ┆ 16:40	<b>メインセッション</b> あなたが紡ぐ「 <sup>つむ</sup> 新しい物語」ワークショップ ～これまで、いま、これから～ 【定員制・上限 1000 名】				<b>ビデオレクチャー</b> 「You are the only you in the world」 ～人生を最高にあなたらしく紡いでいくために～ サビカス博士の講演と、 それを受けての大原理事長・黒木理事の対談				P.8参照
16:50 ┆ 17:10	リフレクション & グランドフィナーレ								

各分科会の内容をご案内します。  
分科会へのご参加にあたっては、  
次の7つの中から  
ひとつをお選びください。

## 分科会②

## 高等学校でのキャリアカウンセリングの必要性を問う

**主催** 研究会2「高等学校へのキャリアカウンセリング制度導入研究会」  
**登壇** 研究会 座長 棚橋 伸男

本研究は、高校生が自身の適性を知り、将来へのビジョンを持ち歩むために「高等学校へのキャリアカウンセリング制度導入」に向け、外部機関のキャリアコンサルタントが、どのように働きかければ良いかを検証し、高校指導現場の課題を共有する、アクション・リサーチ研究を通して、効果あるプログラム提言を目指します。

## 分科会④

## がん治療と仕事の両立支援におけるCDA とがん患者の実態

**主催** りぼら&研究会4「治療と仕事の両立支援」  
**登壇** 砂川 未夏（座長）、加賀谷 晴美、原 洋子

研究会では、「はたらく場におけるがん患者、経験者に対するキャリアコンサルティングの実態調査」において、会員3,028人の回答から見えてきた現状と課題を共有します。また、日本対がん協会様の休眠預金活用事業に採択された『りぼら』（就労移行期にあるがん患者の心の準備支援と中小企業の治療と仕事の両立推進支援事業）の取り組みについて事例を交えてご紹介します。

## 分科会⑥

## 経験代謝の未来を語る ～新プログラムの構想発表～

**主催** 大会本部  
**登壇** JCDA 会長 立野 了嗣 JCDA 事務局長 佐々木 好  
JCDA 認定スーパーバイザー 加藤 貴美子、堀上 晶子

2009年の発表以来、経験代謝は常に進化を遂げてきました。人が経験を語るとありたい自分が見えてくる、個人の心のエネルギーが未来を創っていく、そんな瞬間に私たちは何度も立ち会ってきました。新プログラムでは、自己概念の成長から社会成熟へのつながりについて考えるアプローチをご紹介します。皆さんのご意見や感想をお聞かせください！

## 分科会①

## 発達障がい者の自助会活動

**主催** 研究会1「いきいきムーン」  
**登壇** いきいきムーン 座長 志岐 靖彦  
大阪大学大学院 教授 片山 泰一  
さかいハッタツ友の会 代表 石橋 尋志

いきいきムーンは、2年間で28回の自助会を開催し、発達障がい者と養育者・支援者・雇用者、延べ587名の参加で、小さな「共生社会」を実現！  
CDAが主体的に「共生社会」のためにできることを共有しませんか♪

## 分科会③

## 未成年者のこれからを紡ぐ支援とは

**主催** 研究会3「これからを紡ぐ研究会」  
**登壇** 研究会 座長 大山 佳子

偶然出会った支援対象者が、更生保護施設から復帰してきた未成年だったことをきっかけに、過去の「つながり」を断ち、新たなキャリアを紡ぎ直す支援について研究してきました。危うい仕事から未成年を守るために、私たちに何ができるのか？ すべての未成年者への「キャリア支援」に通じる「責任ある社会人を形成する」支援について、一緒に考えていきましょう。

## 分科会⑤

## CDA がキャリアカウンセリングを受けられる仕組み

～カレーを食べたことがないカレー屋さんっているの？～  
**主催** CDA が定期的にキャリアカウンセリングを受けられる仕組み検討委員会  
**登壇** 野条 美貴、松本 桂樹、宮村 聡子

「キャリアカウンセリングをもっと社会に広めたい！」  
「広めるためには、まずCDAが受けて、その良さを語る必要があるのでは？」というのがこの委員会発足の原点です。昨年5月に発表した報告書をベースに、みなさんとの対話を通して考えてみたいと思います。

## 分科会⑦

## キャリア自律を促すための 新・キャリア発達モデル ～9つのテーゼ～

**主催** 日本マンパワー キャリアのこれから研究所  
**登壇** 日本マンパワーフェロー・キャリアのこれから研究所 水野 みち

人生100年時代、VUCAの時代と言われる今、「キャリア自律」というワードが企業と個人の関係性において注目を集めています。しかし、どうすれば社員が「キャリア自律」するのかということについては、概念も打ち手もさらなる探求が必要です。そこで、日本社会に必要なキャリア自律の考え方を「(仮称)新・キャリア発達モデル」として提唱すべく着手しました。個々人のキャリア自律や内的な成長につながる基盤(OS)となるモデルをご紹介します。

メインセッションおよびビデオレクチャーの内容をご案内します。

14:40～16:40 のプログラムご参加にあたっては、次のいずれかひとつをお選びください。

メインセッション 定員制・上限1000名

つむ

## あなたが紡ぐ「新しい物語」ワークショップ ～これまで、いま、これから～



昨年、皆さんにご回答いただいた「CDA 会員意識調査」から、このワークショップは生まれました。新型コロナという未曾有の事態に直面したからこそ、改めてそれぞれのマインドとスキルを活かして、協働しながらより良い社会をつくっていく CDA の価値が明らかになりました。本ワークショップでは、CDA としての「これまで」「いま」「これから」をストーリーとして辿っていただくと共に、グループでの対話を通じて、お一人お一人の支援の輪が紡がれて大きな物語が生まれ、「共に生きる」ことの意味を実感していただく時間となるでしょう。様々な現場で資格を活かして活躍されている方だけでなく、資格は取ったけれど活かし切れていない、あるいは活かし方がわからない・・・そんな方にこそ、参加して良かった！と思っただけの場にしたいと思います。

★お願い：当日は、紙と筆記用具をご用意ください。

ビデオレクチャー

## 「You are the only you in the world」 ～人生を最高にあなたらしく紡いでいくために～

登壇 日本キャリア開発協会 理事長 大原 良夫  
JCDA 認定スーパーバイザー 黒木 陽子



マーク・サビカス博士から、JCDA 2万人大会のために新たにビデオメッセージをいただきました。本ビデオレクチャーは、このサビカス博士のメッセージを軸に展開いたします。まず大原理事長よりサビカス博士の理論の概略と、「物語」「ナラティブ」についての解説していただきます。次にサビカス博士から、ストーリーやナラティブの重要性、キャリア構成キャリアカウンセリングについて、ケースも交えてお話しいたします。これらを受けた大原理事長と黒木さんの対談では、サビカス博士の理論と経験代謝との関係を検討しながらキャリアカウンセリングについての理解を深めていきます。

(本ビデオレクチャーは、すべて事前収録の動画をご覧ください)

★2万人大会に参加申し込みされた方は全員、後日、映像視聴が可能です。

## 記念講演① 「会員2万人達成を超えて、その先へ」

立野 了嗣 (日本キャリア開発協会 会長)

①印象に残ったこと、感じ考えたこと

②そこには、どんな自分がいますか

## 記念講演② 「今、小さな物語から大きな物語へ」

下村 英雄 様 (独立行政法人労働政策研究・研修機構 キャリア支援部門 副統括研究員)

①印象に残ったこと、感じ考えたこと

②そこには、どんな自分がいますか

## リレートーク ～ CDA が語る私の物語～



### 私の物語

① CDA になったきっかけ

② CDA として、学び・活動する中で、  
感じ考えたこと

③ そこには、どんな「私」がいますか

④ どんな未来の物語をつくりたいですか

メインセッション あなたが紡ぐ<sup>つむ</sup>「新しい物語」ワークショップ

□ご氏名

---

これまで

いま

これから